

関西学院大学 研究成果報告

2020年4月1日

関西学院大学 学長殿

所属： 経済学部
職名： 教授
氏名： 加藤雅俊

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input type="checkbox"/> 特別研究期間 <input type="checkbox"/> 自由研究期間 <input type="checkbox"/> 大学共同研究 <input type="checkbox"/> 個人特別研究費 <input type="checkbox"/> 博士研究員 ※国際共同研究交通費補助については別様式にて作成してください。
研究課題	創業期における企業の知的財産権取得の要因と効果
研究実施場所	関西学院大学経済学部加藤研究室
研究期間	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日（12ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

スタートアップ企業にとっては、知財の申請（特に特許出願）に必要な知識やノウハウ（他社が取得した似た技術はないか等）がないだけでなく、乏しい人的資源の下で創業者自ら申請手続きに割くような時間がなく、金銭的なコストが大ききこともあり、多くの面で取得への障壁が存在する。創業期の企業の知財取得については先行研究では実証的には十分に明らかにされていない。そこで本研究は、スタートアップ企業による知的財産権取得の有効性を明らかにするために、生存と成長といった創業後のパフォーマンスへの効果について分析してきた。また、スタートアップ企業の知的財産権の取得の阻害（促進）要因を解明するため、どのような特性を持つスタートアップ企業が知的財産権の取得を行う傾向にあるのかについて取り組んできた。

主な研究成果は以下の通りである。

(1) スタートアップ企業の特許と退出確率

この研究は、製造業および情報サービス業におけるスタートアップ企業を対象に、特許出願企業の生存確率がそうでない企業と比べて高いかどうかについて分析している。特に、退出形態を考慮した生存分析を行っている点、および、特許出願については最終的に登録されたか否かの区別をしている点が特徴として挙げられる。分析結果は、最終的に登録された特許を有する企業は生存確率が高い一方で、出願後に登録されなかった特許を有する企業は逆に倒産確率が高まることを示している。この研究は、早稲田大学

の大西宏一郎氏および中央大学の本庄裕司氏との共同研究として実施していて、現在 *Small Business Economics* 誌の特集号において査読中（第2ラウンド）である。

(2) スタートアップ企業の特許・商標と成長

次に、以前独自にアンケート調査を行った際に収集したデータを用いて、スタートアップ企業の特許と商標が雇用成長にどのような影響があるのかについて分析を行っている。トリヤー大学の Joern Block, Christian Fisch, 経済産業研究所の池内健太氏および一橋大学の岡室博之氏との共同研究として進めている。この分析はまだ未定稿であるが、主な結果として、商標は創業すぐに正の効果が表れる一方で、特許は創業後すぐは効果が出ないか負の効果を持つ一方で、時間の経過とともに正の効果へと変化することが明らかになっている。現在フルペーパーの執筆をしていて、最終的に国際学術誌への投稿を行い、掲載を目指す。

(3) その他

関連テーマとして、現在、イノベーション指標としての商標の地理的分布をテーマに研究を進めている（Block氏、Fisch氏、池内氏との共著）。成果は以下の論文の4番に該当し、現在 *Regional Studies* 誌の特集号において審査中（第1ラウンドを通過し Revise & Resubmit に対応中）である。また、スタートアップ企業における家族従業員の雇用が知的財産の取得（イノベーション成果の指標）に与える影響についてノッティンガム大学寧波校の Haibo Zhou 氏との共同研究として進めている（以下の学会発表1番に該当）。

2019年度の主な研究業績

（論文）

1. Alex Coad and **Masatoshi Kato**, "Growth Paths and Routes to Exit: 'Shadow of Death' Effects for New Firms in Japan," *Small Business Economics*, forthcoming. 【査読付き】
2. **Masatoshi Kato**, "Founders' Human Capital and External Knowledge Sourcing: Exploring the Absorptive Capacity of Start-up Firms," *Economics of Innovation and New Technology*, Vol. 29, 184-205, January 2020. 【査読付き】
3. Yuji Honjo and **Masatoshi Kato**, "Do Initial Financial Conditions Determine the Exit Routes of Start-up Firms?" *Journal of Evolutionary Economics*, Vol. 29, 1119-1147, June 2019. 【査読付き】
4. Joern Block & Christian Fisch & Kenta Ikeuchi & **Masatoshi Kato**, 2019. "Trademarks as an indicator of regional innovation: Evidence from Japanese prefectures," Discussion Paper Series 200, School of Economics, Kwansei Gakuin University. 【査読なし】

（学会発表）

1. Family Employees and Innovation Behavior of Start-ups: A Family Embeddedness Perspective of Entrepreneurship, at Atlanta Conference on Science and Innovation Policy, October 14-16, 2019, Atlanta, Georgia, USA.
2. Cooperative R&D and the Performance of Start-up Firms: Does Founders' Human Capital Matter? at Atlanta Conference on Science and Innovation Policy, October 14-16, 2019, Atlanta, Georgia, USA.
3. CEO Succession and New-firm Performance," Does CEO Origin Matter? at Research in Entrepreneurship and Small Business (RENT) Conference, November 28-29, Berlin, Germany.

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

※個人特別研究費：研究費支給年度終了後2ヶ月以内 博士研究員：期間終了まで

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※特別研究期間、自由研究期間の報告は所属長、博士研究員は研究科委員長を経て提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。